

令和2年度

事業計画書及び収支予算書

公益社団法人

神奈川県ペストコントロール協会

令和元年度第7回理事会

(令和元年12月20日) 決定

令和2年度事業計画

概 況

令和元年の7月は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、7月としては12年ぶりの低温となったものの、月の終わりには太平洋高気圧が強まり、晴れて気温が上がり猛暑日に見舞われ、8月も厳しい暑さの日が続きました。ところが、9月8日から9日にかけては台風15号が関東地方に上陸し記録的な暴風と大雨で大荒れとなりました。さらに、10月13日には台風19号の影響で記録的な大雨に見舞われ甚大な被害が発生しました。

このような気候の影響か、協会が受ける電話害虫相談は夏の前半は昨年より少なかったものの8月に入ると昨年を超える相談件数となり、協会でもこの対応に忙殺されることとなりました。また、台風19号は神奈川でも水害、土砂崩れなどで大きな被害を残し、県内自治体から浸水地域の消毒方法等の問い合わせが多くありました。

一方、環境衛生に関する動向をみると、東京港青海ふ頭で多くのヒアリが発見され、さらに、豚コレラの感染が近隣の県で確認されるなど、関係行政機関の緊迫感は極めて高まっており、環境衛生のパートナーとして当協会への期待がますます大きくなりつつあります。

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会は、協会設立以来の諸先輩方の努力の積み重ねもあり、協会の知名度も不十分とは言え徐々に市民に浸透しつつあり、県民の皆様の電話相談も増加傾向にあるといえます。また行政機関からも、感染症対策や自然災害発生時のパートナーとして一定の信頼を得られるようになってきたとの実感もあります。

しかしながら、競争の激化、後継者問題などPCO業界を取り巻く情勢は決して楽観できるものとは言えず、さらなる努力が求められているといえます。

協会では令和2年に設立50周年を迎えることとなりますが、これを機に新たな飛躍を期すべく「協会の在り方」、「PCOの市民生活への一層の浸透」、「県・市町村など地方行政機関との連携の推進」、「PCO業務従事者の技術力の更なる向上」、「PCO業務の継承者の育成」、「空き家対策への参画」など様々な課題をテーマに検討を進めて参りたいと考えております。

令和2年度においては、協会創立50周年事業を実施するほか、以下の具体的事業を実施いたします。

事業内容

1 公衆衛生の向上を図るために

- (1) 公共機関、各種地域団体及び公益事業団体、業界団体並びに市民団体などとの連携強化
- (2) 感染症予防衛生隊の活用及び充実強化
- (3) 安全な生活環境を確保するための各種調査研究活動の充実・強化
- (4) 市民も参加できる各種講習会の開催
- (5) 地域社会における公衆衛生の推進強化

2 地域社会への浸透を図り、公益事業の強化を図るために

- (1) 害虫110番事業の機能強化
- (2) ホームページの効率的運用
- (3) 有害、不快生物等の同定・相談事業の実施
- (4) 有害・不快生物に関する防除の正しい知識の普及・啓発
- (5) 市民の知識を啓発するための「虫の日」イベント等の開催・参加
- (6) 公共機関、市民団体、業界団体等への講師の派遣

3 防除技術の向上を図るために

- (1) 技能師資格の普及・拡充
- (2) 技術関連講習会の充実強化による新たな課題への対応
- (3) 各種技術情報の収集・提供
- (4) IPM（総合的有害生物管理）に即した防除手法の普及・開発
- (5) 機関誌「情報発信 from かながわ」の発行
- (6) 各種学会への協賛・参加
- (7) 資料室・研修室の充実と活用の促進

4 協会の基盤強化のために

- (1) 組織の充実強化
- (2) 協会広報活動の強化
- (3) 会員を対象とした経営相談等の窓口開設の検討
- (4) 経営環境改善講習会の実施
- (5) 次世代型指導者の育成と支援
- (6) 会員相互の親睦、連携を図るための福利厚生事業の実施
- (7) 新規会員の加入促進